

2024年 5月 浜松聖書集会のご案内

(時間: 午前10時 ~ 正午)

- 5月 5日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会: 大手 美千代 感話: 武井 めぐみ
聖書講話: ミカ書1章2~7節
「サマリアの背信に対する神の審判」 水戸 潔
- 5月12日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会: 岩田 堯
聖書講話: ルカによる福音書1章1~4節、使徒言行録1章1~8節
「ルカにおける福音の継承 - 「御後に従う」ことから「証人」へ-」
堀澤 六郎
- 5月26日 (日) 集会 (アクト研修交流センター36セミナー室)
司会・感話: 武井 陽一
聖書講話: マタイによる福音書 6章25~34節
「人生の転機 - 開拓農家を夢見て-」 西川 求
集会後、昼食の弁当を頂き、西川求さんと交流の時をもちます。
希望者は 武井めぐみ まで申し込みください。

◎ 「みぎわ64号」原稿投稿の案内は、5月初めにお送りします。

単純なる信仰

溝口 正

内村鑑三は「一言もってわが信仰をつくし得るに至るまでは、われはわがうちにおいて平らかなるあたわず、また外に向って明瞭にわが信仰を述ぶることができない」と言った。私はこの言葉に触発されて、自分の信仰を一言にて言い表わしてみようと試みた。

「わが救いはキリストにあり。主よ、われ信ず、信仰なきわれを救いたまえ」、この言葉が口をついて出た。言い了えて私は、自分の存在、自分の人生のすべてがこの一言の中に凝縮されていることを感じて、心が満ち足りた。

また別の日に、自分の信仰を一言で言うべき十字架の主を仰ぎ見た。「子よ、心安かれ、汝の罪ゆるされたり」この御言葉が天よりきらめき降った。私は聖霊に包まれて満ち足り神を讃えた。

来る朝ごとに

溝口 正

来る朝ごとに 祈りたい
来る朝ごとに 聖書を読みたい
来る朝ごとに 啓示に接したい
来る朝ごとに 十字架を仰ぎたい
来る朝ごとに 復活の夢をみたい
来る朝ごとに 主を待ち望みたい

(1884年3月『復活』330号)